



149 号
2021 年 4 月

最新情報は
HP からどうぞ！



光友会ホームページ
<http://www.lfa.jp>

寒川事業所「寒川まち食堂」「まちのお弁当屋さん」

1 年間の取り組みが
神奈川県ホームページに掲載されました！



ともに生きる社会の実現をめざす「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の普及および、障がい者への理解促進につながる活動として、この1年間寒川事業所で提供したサービスが注目されました。「コロナに負けない！」と称し、笑顔と元気を届ける事業所として自主企画イベント開催や「農福連携」を中心に地域協働事業にも積極的に取り組んだ成果だと、一緒に協力していただいた地域の皆様方にも感謝でいっぱいです。利用者・職員共々大変嬉しく思っております。

下記ホームページからぜひご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1368/tomonikiru/report/feature/work6.html>

出典：「ともに生きる社会かながわ憲章」ポータルサイトより

Index - もくじ -

P1 神奈川県ホームページに掲載されました！（寒川事業所） | P2 光友会2021年度事業計画作成にあたり
P3-4 事業所だより | P5 コラムあーいえばこーゆーかい® | P5-6 新人紹介 | P6 推進協だより

光友会 2021 年度事業計画作成にあたり

理事長 五十嵐 紀子

当法人創設以来、約半世紀が経過する。2021 年度が始まるにあたり若干の所感を述べ、2021 年度の事業展開の指標としたい。

44 年前、法人設立にあたり準備プロジェクトを立ち上げ、毎晩遅くまで話し合いを重ねた。そして、事業の方向性を定めたのは「就労」と「暮らし」を支援の 2 頭立てにしようと云うものであった。

老人福祉・児童福祉にはない障害福祉にだけある施策、それが就労である。人は生活する上で、就労し賃金を得て衣食住の暮らしをたてる。故に就労の位置づけは重要とした。そして、働くことが出来ない重度障害者は、生活そのものの支援をして行く。という“両方の支援”を目指したのである。その結果、就労支援施設「神奈川ワークショップ」に始まり生活支援施設「湘南希望の郷」へと事業展開が始まった。その後、様々な社会の変遷からその時々ニーズに合わせて事業展開をしながら今日に至ったのである。

他方、地球上の様々な課題・問題解決のため 2015 年に国連加盟国全会一致で SDG s (持続可能な開発目標) が決議された。

しかし、“誰一人取り残さない社会”を目指しはじめた 5 年後の 2020 年新型コロナウイルスで社会は一変した。このような状況下で、社会福祉分野でも事業展開と意識改革が大きく求められる社会へと変化したのである。

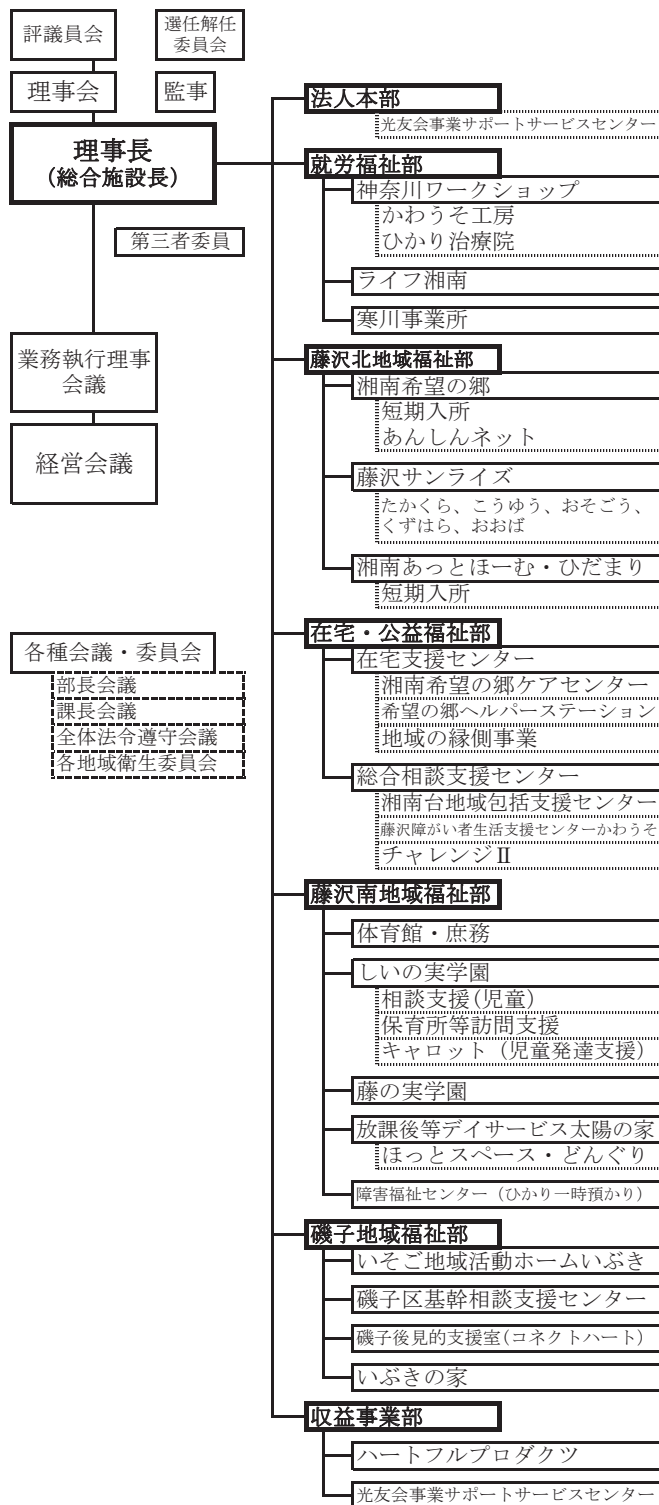
今年度は、2021 年から始まる中期経営計画実施開始年にあたっている。こんな時こそ法人傘下全職員が一丸となって、お互い知恵を出し合い“創意と工夫”を持って事業を前に進めなければならない。SDG s の 3 番にある“すべての人に健康と福祉の促進”をしなければならないのである。

第一に就労の位置づけとして SDG s の 8 番 10 番にある様に他業種と協力し合い地域住民の求めるニーズに応える事業展開が不可欠である。

第二の生活支援に於いては、施設が地域の方々に溶け込んで明るく楽しい SDG s 16 番にあるような“誰もが取り残されない”コミュニティづくりを目指さなければならない。

以上掲げたこの 2 つの要素を最重点目標として 2021 年度の事業計画を策定したい。

2021 年度 光友会組織図



事業所だより

神奈川ワークショップ

年度の締めくくりに豪華なお弁当をいただきました！



3月17日の昼食は、「2020年度も本当にお疲れ様でした！」の気持ちを込めて、スペシャルバージョンのお弁当を事業所でご用意させていただきました。

「どれから食べたらいいのか迷う～」と声が聞こえてくるほど、さまざまなおかずがぎっしりと詰った、ボリューム満点の豪華なお弁当でした。みなさん、おいしそうに召し上がっていました。お弁当を作ってくださった寒川事業所のみなさま、ありがとうございました！

神奈川ワークショップ 重野友希

ライフ湘南

ご注文ありがとうございました！春色ちらし&3月3日限定デニッシュ



ライフ湘南の喫茶茶房留では、ひな祭り恒例の「春色ちらし」を予約販売しました。今回は、製パン部門でも「イチゴと桃のデニッシュ」を3月3日限定で予約販売したところ、「春色ちらし」同様、たくさんのご注文を頂きました。デニッシュを購入されたお客様から「限定ではなく、通常でも販売をして欲しい。」との声もあり、通常販売を検討している最中です。これからも予約限定の商品を販売していきますので、ご注文お待ちしております！

ライフ湘南 中西まゆみ

湘南希望の郷

明大チャリティアート展



第16回明大チャリティアート展が3月9日から14日、藤沢市民ギャラリーで開催され、アクティビティ美術プログラムメンバーの作品を出展しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のため作品のみの参加となりましたが、たくさんの方に見ていただくことができました。

湘南希望の郷 田中雅典

湘南あっとほーむ
ひだまり

開所して1年4か月が経過しました！



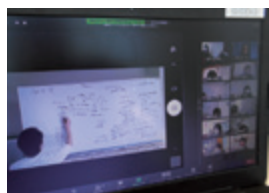
開所当初から3～4か月ほどは入居者さんも職員も手探り状態でしたが、段々と業務内容や支援方法が固まってきました。昨年度はコロナウイルス感染防止に努めつつ、余暇活動やガイドヘルパーなどの福祉サービスの利用に繋がったりと、入居者さんに充実感や楽しみの時間を持っていただく取り組みをしてきました。

今年度は『生活上の様々なチャンスを保障し、時には「失敗する権利」も保障します。』というひだまりの運営方針に則り、入居者さん一人一人の可能性を大事にし、色々なことにチャレンジしていただくことで、さらに充実した生活を送れるよう職員みなでお手伝いをしていきます！

湘南あっとほーむ・ひだまり 高橋昌弘

チャレンジⅡ

高次脳機能障がい事例検討会



2月19日に、「高次脳機能障がい事例検討会」を開催しました。新型コロナウイルスの感染防止のためオンライン研修としました。定員40名を上回るたくさんの応募を頂きました。今回は、ケアマネジャーや地域包括支援センター職員の方等を主な対象に、介護保険第2号被保険者に該当する40代男性の事例を扱い、高次脳機能障がいの特性等の説明の他、障がい福祉サービスの併用やインフォーマルサービスの活用等についても情報提供をおこないました。

今年度も開催し、普及啓発や関係機関とのネットワークづくりに取り組んで参ります。

チャレンジⅡ 見原正紀

藤沢市太陽の家 しいの実学園



新年が明けてからの行事

コロナ禍での2020年度の行事は手探りの中、行ってきました。どうやったら子どもたちが楽しめるかを考えながら、「やらない」ではなく「やる」、「やるなら」どうやるかを検討し、2021年新年が明けてから、「餅つき」「豆まき」を行いました。

3月には「太陽の家水族館」を開催しました。各々の子どもたちが、砂、トンネル、魚釣り、製作、園長のマジックショーなど楽しむことができ、太陽の家 全事業所の行事ともなり素敵な社会体験となりました。

しいの実学園 野間紀子

藤沢市太陽の家 藤の実学園



駅伝大会を実施しました！

3月5日に駅伝大会を実施しました。例年、隣接する八部公園野球場を借りていましたが、今年は太陽の家体育館を使用し、密を避けるため午前・午後にグループを分けて実施しました。準備にあたり、皆で体育館内の装飾を作り飾り付けをしたほか、各班で応援グッズを作成しました。当日は皆さん頑張って走っていらっしゃいました。

年度最後の行事でしたが、皆さん笑顔で参加され、とても良い行事となりました。

藤の実学園 猪狩千弥

湘南希望の郷 ケアセンター



季節感のある生活を送っていきましょう

ケアセンターの活動では、日々の生活の中で彩りが出るよう季節感のある行事を行なっています。皆で参加する行事や、壁面を使用して季節ごとの飾りつけなどの制作物を作ったりと、その人その人のカラーが表れており、出来た作品を見て新たな発見にも繋がります。

雰囲気を感じてくれる方、一緒に制作を楽しむ方など参加の仕方は人それぞれあり、日々の生活がより楽しいものになれば良いと思って企画者も熱がはいっています。

湘南希望の郷ケアセンター 石井健太

サンライズ



自粛期間の活動

1月に2度目の緊急事態宣言が発令され、藤沢サンライズは新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、自粛期間の様々な活動を行ってきましたので、その一部をご紹介します。

ある方は普段では行えない「断捨離」をしました。いざ、捨てようとしても愛着があるものばかり、中々進みません。しかし、職員と一緒に少しずつ片づける事が出来ました。ある方は職員とキャッチボールをしました。体を動かしてリフレッシュされ、「小さい頃ソフトボールをしていました。」と楽しそうに話されていました。今後も感染予防をしっかりと行い、活動を行いたいと思います。

藤沢サンライズ 村井良行

いそご地域活動ホーム いぶき



幸せな時間をありがとうございました

昨年度、日中活動で予定されていたイベントもコロナ禍の中で縮小や中止になり利用者の皆さんが楽しめる機会が減ってしまいました。その中で少しでも楽しんでいただく機会として、給食のスペシャルメニューの提供や、3月に後援会協力店のお力を得て、曜日を変えてデザートを提供する取り組みを行ないました。いつもと雰囲気の違った給食やデザートに、利用者みなさんも満面の笑み。自然と頬が緩みます。ご協力いただいた、皆様、幸せな時間をありがとうございました！！

いそご地域活動ホームいぶき 加古川昌子

あーいえばこーゆーかい

48

理事長 五十嵐 紀子

“のびる”に想う

春の嵐が明けて、すっかり春らしさが漂い始めた。当法人の敷地内に、未だ水仙も沢山咲いているが、香りのする桜やパンジー等も咲き揃い、まるで春の花園の様である。

この間“つくしん坊”が顔を出し、ヨモギも小さな新芽がのび始めている。周辺を少し歩くと“のびる”や“セリ”も姿を見せる。“のびる”と言え、大昔未だ子どもの頃、祖父と河原の土手を散歩していて、祖父が見つめて取って帰り、母が酢みそ和えにして食べさせてくれた事を思い出す。

つい先日、近くのスーパーで束になっている“のびる”を発見。思わず購入してしまった。さすがに売り物だけあって、何処かで栽培したものと見られ、球根部分も直径1cm位ある立派なものである。私が購入しているのを見た初老の男性が「これどうやって食べるの?」とたずねてきた。「ゆで

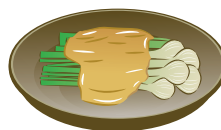
て酢みそが一番良いですよ」と返答すると、その方も自分のカゴに入れた。

私は家に帰って早速酢みそ和えにした“のびる”を夕食に食べたが、何と懐かしい味がしたことか。一つの食べ物で、70年以上も前の子どもの頃の記憶が蘇る。祖父と行動を共にした川の土手の風景。祖父がしゃがんで一生懸命掘りおこした“のびる”等々瞬時にその時の情景がはっきりと頭の中に浮かぶ。

そして今、ひとりぐらしの食卓で“のびる”の酢みそを眺め乍ら、スーパーで出会った初老の男性も同じように一人食卓で“のびる”の酢みそを召し上がって居られるのかな?と想いを巡らす。

こんな季節が、コロナ禍であっても1年経つと着実に廻ってくる、自然の営みに感じ入る“ひととき”を過ごした。

皆さんもたまには、こんな時間を持って、ほっと癒されてみませんか。



新人紹介

①今夢中になっている事

②実は私は〇〇なんです。or 〇〇だったんです。

法人本部



北村 希
① 飼っている猫(4匹)
を撫でて癒される
② 写真を撮るのも
好きなんです

ライフ湘南



川又 光晴
① ゴルフ! バイク!
② バイク乗りなんです

ライフ湘南



尾崎 隼祐
① YouTubeで
の動画を見る事
② 餃子を作るのが
得意なんです

湘南希望の郷



吉原 恭子
① 夢中になれるもの
がなくさびしい
日々です
② 馬、持ってます

湘南希望の郷



山口 祐利亜
① 映画を見ること
です
② 吹奏楽部だった
んです

しいの実学園



鈴木 初芽
① テレビドラマを
見ることにハマっ
ています
② 一卵性双生児な
んです

新人紹介

①今夢中になっている事
②実は私は〇〇なんです。or 〇〇だったんです。

しいの実学園



儀間 ユミ
①地元のおいしいお店探しにハマっています
②日系アルゼンチン人なんです

しいの実学園



生方 絢菜
①好きなグループのグッズを集めること
②一軒家建てることが夢なんです

藤の実学園



後藤 利徳
①DIY。今は自宅のウッドデッキを作成中
②男の子3人のパパなんです

藤の実学園



田中 真央
①自宅で有酸素運動をすること
②歯医者が苦手なんです



・・・ 光友会事業推進協議会だより ・・・

コロナ禍で活動に制限が加わって一年が経過しました。本来ならば会員、役員の皆様と「フェイス to フェイス」で意見交換のできる場や研修会などの設定を行いたいところでありましたが、会場確保や規制の問題等があり、皆様共通の願いがかないませんでした。

今年度の活動といたしましては、新規会員の確保を中心に実施し、一定の成果があったものと考えております。

また、WEB会議で開催いたしました3役・5役会議、書面によります企画運営会議等の情報を掲載した「推進協だより」のタイムリーな発行に努めました。ただし、具体的な活動自身

がコロナ禍で思うように開催できず、大変申し訳ない状況が続いております。

新年度に向けては、3役・5役会議を開催し基本事項（収支・活動報告や予算・活動計画）などを作成する作業に入りたいと考えております。

いずれにいたしましても、緊急事態宣言の延長が行なわれるなど予断を許さない状況が続いておりますので、状況を見ながらの動きとなりますことをご理解いただき、できれば通常の総会の開催ができるように準備を調整役としては整えていきたいと考えております。

（推進協調整役：一杉）

編集後記

今年は、東日本大震災から10年の節目の年にあたります。同時にコロナ禍という未曾有の自然災害に立ち向かう年にもなりました。ピンチはチャンスでもあります。困難を極めた感染症対策にもようやく光明が見えて来ています。これまでの経験を糧にし、人々の絆を深め、より成熟した社会を目指したいものです。（A.O.）

編集委員

五十嵐理事長、森（事務管理部）、井地・高野・中西（就労福祉部）、村井・丸山（藤沢北地域福祉部）、松井・大貫・石井（在宅・公益福祉部）、猪狩・野間（藤沢南地域福祉部）、加古川（磯子地域福祉部）

なお、本誌掲載の写真につきましては、本人、家族、又は団体等の了解を得ています。

季刊

発行日
発行
責任者
発行所

印刷所

LFA 第149号

2021年4月
光友会
理事長 五十嵐 紀子
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008-1
社会福祉法人 光友会
電話 0466-48-1500
光友会 神奈川ワークショップ